

(講座) 臨床薬学
(氏名) 西田孝洋

(研究室) 薬剤学
(職名) 教授

【研究テーマ】

1. 臓器表面からの薬物吸収を利用した新規投与形態に基づく DDS の開発
2. 薬物の臓器内特定部位への移行の速度論的解析および標的指向化の製剤設計
3. 腹腔内臓器からの薬物吸収性を考慮したモデルに基づく全身体内動態の再構築
4. 薬物療法の個別化を目指した、病態時や相互作用による薬物体内動態の変動予測
5. ICT を活用した e ラーニングシステムによる授業および実習の改善

【論文発表】

A 欧文

(A-a) 原著論文

1. Nishida K, Kobayashi M, Miyamoto H, Yoshikawa N, Fumoto S, Sasaki H, Nakamura J: Relationship between lipophilicity and absorption from the liver surface of paraben derivatives and antipyrine in rats. J Pharm Pharmacol 63: 736-740, 2011 (IF: 1.918)
2. Ueki T, Nagai K, Ooe N, Nakashima MN, Nishida K, Nakamura J, Nakashima M: Case-controlled study on risk factors for the development of constipation in hospitalized patients. Yakugaku Zasshi 131: 469-476, 2011 (IF: 0.427)
3. Mine T, Ishii H, Nakajima S, Yoshikawa N, Miyamoto H, Nakashima M, Nakamura J, Fumoto S, Nishida K: Rubbing gastric serosal surface enhances naked plasmid DNA transfer in rats and mice. Biol Pharm Bull 34: 1514-1517, 2011 (IF: 1.811)
4. Fumoto S, Furukawa H, Nakamura J, Nishida K: Safety of liver surface instillation of plasmid DNA in normal and carbon tetrachloride-induced hepatitis mice. J Pharm Pharm Sci 14: 274-282, 2011 (IF: 1.914)
5. Ueki T, Nagai K, Mizukami Y, Takahashi A, Ooe N, Nakashima MN, Nishida K, Nakamura J, Nakashima M: Cross-sectional study on relationship between constipation and medication in consideration of sleep disorder. Yakugaku Zasshi 131: 1225-1232, 2011 (IF: 0.427)
6. Yoshikawa N, Sakamoto K, Mizuno S, Sakaguchi J, Miyamoto H, Mine T, Sasaki H, Fumoto S, Nishida K: Multiple components in serum contribute to hepatic transgene expression by lipoplex in mice. J Gene Med 13: 632-643, 2011 (IF: 3.079)

【学会発表】

B 国内学会

(B-a) 招待講演

1. 麓 伸太郎, ○西田 孝洋: 腹膜を標的とした新規遺伝子導入剤の開発, 第5回薬学研究フォーラム in 東京, 0-2, 東京 (2011)

(B-b) 一般講演

1. 麓 伸太郎, 吉川 直樹, 坂元 景子, 佐々木 均, 西田 孝洋: リポプレックスによるマウス肝臓への遺伝子導入に寄与する血清成分の同定, 日本薬学会第131年会, 29P-0454, 静岡 (2011)
2. 西田 孝洋, 丸田英徳, 鈴木齊, 黒川不二雄: eラーニングによる薬学専門科目の予習・復習支援の試み, 日本薬学会第131年会, 31P-0753, 静岡 (2011)
3. 吉川 直樹, 坂元 景子, 佐々木 均, 麓 伸太郎, 西田 孝洋: マウスの肺及び肝臓への効率的な in vivo リポフェクションに寄与する複数の血清成分, 日本薬剤学会第26年会, P-081, 東京 (2011)
4. 西田 孝洋, 佐藤 僚介, 朝長 玲, 若杉 和美, 吉川 直樹, 宮元 敬天, 麓 伸太郎: 腹腔内の肝臓表面からの薬物吸収速度に及ぼす粘性添加剤の影響, 日本薬剤学会第26年会, P-085, 東京 (2011)
5. 吉川 直樹, 坂元 景子, 佐々木 均, 麓 伸太郎, 西田 孝洋: 血清成分との相互作用によるリポプレックスの構造および遺伝子発現の変化, 第27回日本DDS学会学術集会, 1-D-17, 東京 (2011)
6. 西田孝洋, 宮元敬天, 吉川直樹, 麓伸太郎: Excel を活用する薬物速度論の系統的な6年制教育, 医療薬学フォーラム2011/第19回クリニカルファーマシーシンポジウム, 213, 旭川 (2011)
7. 宮元敬天, 松枝慧, 阿部桂子, 佐々木 均, 麓 伸太郎, 西田孝洋: 肝灌流実験・解析系に基づく体温変化時における薬物動態変動要因の解明, 第21回日本医療薬学会年会, P-0837, 神戸(2011)
8. 平田春奈, 宮元敬天, 麓 伸太郎, 西田孝洋: 腹膜障害を診断するマーカーの最適分子量探索と評価法確立, 第21回日本医療薬学会年会, P-1078, 神戸(2011)
9. Hirotaka Miyamoto, Satoshi Matsueda, Keiko Abe, Yurika Hori, Shintaro Fumoto and Koyo Nishida: Change in midazolam disposition under hypothermic condition in vivo and isolated rat hepatocytes, 日本薬物動態学会第26年会 1-P-76, 広島 (2011)
10. 宮元 敬天, 松枝 慧, 阿部 桂子, 堀 友理香, 大脇 裕一, 麓 伸太郎, 西田 孝洋: ミダゾラム体内動態およびラットへパトサイトによる代謝能へ及ぼす温度低下の影響, 第28回日本薬学会九州支部大会, 1A-03, 福岡(2011)
11. 平田 春奈, 宮元 敬天, 麓 伸太郎, 西田 孝洋: 2種類の高分子マーカーを用いた腹膜障害診断法の確立, 第28回日本薬学会九州支部大会, 2A-15, 福岡(2011)

【特許】

1. 研磨剤を含有する核酸導入剤、発明者（長崎大学：麓伸太郎、西田孝洋）、
出願番号：特願 2011-194260

【研究費取得状況】

1. 臨床応用へ向けた抗癌薬や遺伝子治療薬の肝臓表面適用製剤の開発；日本学術振興会
科学研究費 基盤研究（C）

【学会役員等】

1. 日本薬剤学会評議員
2. 長崎県薬剤師会生涯教育委員会委員
3. 長崎県薬剤師研修協議会委員
4. 長崎市薬剤師会監事
5. 長崎県保健医療福祉専門部会委員

【過去の研究業績総計】

原著論文（欧文）	110 編	（邦文）	4 編
総説（欧文）	5 編	（邦文）	5 編
著書（欧文）	0 編	（邦文）	5 編
紀要（欧文）	1 編	（邦文）	10 編
特許	1 件		